

将来の目標をみつけよう ジュニアビジネススクール

—考えてたどり着く面白さ—

岡本瑞季

泉大津市立図書館

1 はじめに

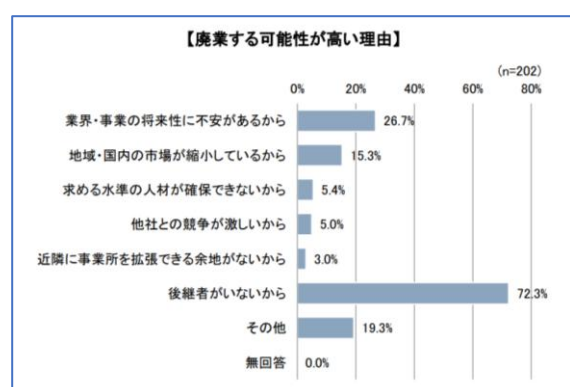
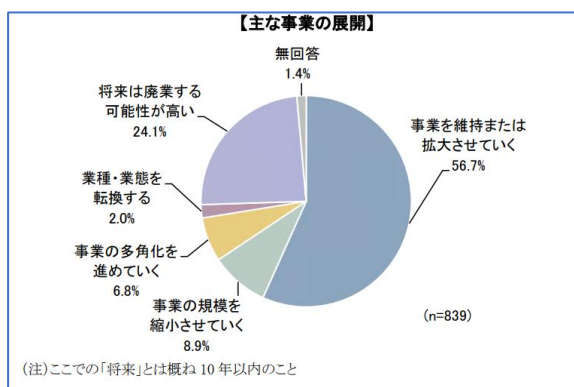
泉大津市立図書館は令和3(2021)年9月に駅前商業ビル内に移転した。以来、ビジネス支援をサービスの柱の一つに数え、地域企業や商工会議所、庁内関係各課と連携を行い、サービスの普及に努めてきた。私は泉大津市立図書館の児童サービスを担当しているが、ビジネス支援を見学サービスに取り入れることはできないかと考え、講習の中で得たものを活かして事業を計画した。

2 泉大津市の現状と課題

大阪南部に位置する泉大津市は、人口約7万人面積 13.73 km²と小規模の自治体だが、国産毛布の9割を生産していることから「毛布のまち泉大津」として知られ、古くから毛布や毛織物、ニット関係の企業が集積してきた。

しかし国内繊維産業は1991年のバブル崩壊以降一貫して生産高や出荷高が減少傾向にあり〔1〕、泉大津市もその影響を大きく受けてきた。1991年には事業所が4,784か所あり従業員数が34,696人だった〔2〕のが、2021年には事業所が3,033か所、従業員数が27,677人と減少しており〔3〕、地場産業・地域産業である繊維産業を含めた市全体の産業が規模縮小の傾向にあることがわかる。

令和6(2024)年に作成された「泉大津市商工業振興ビジョン」〔3〕の市内事業者アンケート(有効回答数839件)によると、今後の事業の展望についての質問に対し24.1%(回答数202件)が「将来は廃業する可能性が高い」と答えた。またその理由として72.3%と最多を占めたのが「後継者がいないから」という意見であり、およそ146の事業所が後継者不足を理由に廃業を検討していることがわかる。その原因としては、地場産業である繊維産業の国内市場規模縮小だけでなく、全国的な少子高齢化や若者の市外流出なども影響していると思われるが、中小企業、家族経営事業所が多い泉大津市においては後継者不足が死活問題になっていることが伺える。



「泉大津市商工業振興ビジョン」〔3〕より

私自身、図書館で勤務する中で「後継者がいないから廃業するしかない」という当事者たちの話を幾度か聞いたことがある。歴史ある地域企業の存続は泉大津市の大きな課題の一つである。

3 事業の目的と対象

平成 27(2015)年「泉大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」^{〔4〕}ならびに令和 2(2020)年「第 2 期泉大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」^{〔5〕}を見ると、「将来的な泉大津市への居住意向」や「泉大津市が好きですか？」という問いに若年層の約八割が肯定的な回答をしており、地元への愛着や定住志向が高いことがわかる。しかし同資料によると、

本市の人口構造は、幼児と 20 代後半から 30 代前半の層において転出超過傾向が顕著で、全体の転出超過は 2013 年度と比較すると緩やかになってきているものの社会動態による減少が継続しています。しかし、本市には、地元に対する愛着が強く、地元での定住志向が強い若者が多いことに加え、国内生産トップのシェアを誇る毛布産業や、数多くの企業が立地する港湾エリアを有することなどの強みがあります。

(「第 2 期泉大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」^{〔5〕}より)

とあり、若い働き手が市外に流出して地元での就業に繋がっていないことがわかる。

そこで、将来泉大津市で働くことが期待される若年層に、地域産業について学び将来を思い描く機会を図書館が提供する事業を行うことにより、シビックプライドの醸成を図り、未来の彼らのキャリアに地域企業への就職という選択肢ができることを目指す。

対象は、学校で具体的なキャリア教育を受け始め、自身の将来を具体的に思い描きはじめた中学生とする。世界的に名の知られた企業や会社について、子供たちが学ぶための図書はたくさん出版されており図書館でも手に取ることができるが、彼らにとって一番身近であるはずの地元の企業についての図書は出版されていない。出版されていないから学べないというのは地域住民にとって大きな損失である。図書に限らず、地域について学ぶ機会の創出は、地域の情報を収集し利用者に提供するという役割を持つ図書館だからこそ行わなければならない事業であると考ええる。

4 事業の概要

① ジュニアビジネススクールの開催

「ジュニアビジネススクール」と題し、ビジネスについて学ぶための中学生向け講座を定期的、継続的に開催する。参加者は図書館での広報や市内中学校を通じて募り、グループ単位で活動することで仲間意識、連帯感の発生を狙い、学習への心理的負担を軽減し楽しく学ぶ環境を作る。また座学だけでは単なる授業と捉えられる恐れがあるため、より実践的な部分を楽しみながら体験することができるよう、実技・実習の時間を積極的に設ける。

講師は主に地域企業から招き、中学生が地域企業の歴史や経営、商品流通、今後の展開など

について知るための機会とする。地域産業である毛布や毛織物について、参加した中学生の意識がどう変化するかをフィードバックすることで、地域企業が若年層の考え方を収集する契機にもできると考える。

また将来のビジネスパーソンを育成することを目的に、大阪府の中小企業診断士会からも講師を招いて中学生向けのビジネスセミナーを企画する。更に日本統計センターと連携して、商用データベース MieNa を用いた地域の探求学習に繋がるセミナーを実施する。

【ビジネススクール内容案】

- ・開催時間：毎回約2時間
- ・開催場所：泉大津市立図書館 オープンセミナースペース
- ・図書館側の準備物：内容に関連する図書
- 「織物を体験してみよう」(講師：地域企業)
 - …織物を扱っている地域企業より講師を招き、織物についての基本を学び、実際に織られている映像を見学する。(映像は泉大津市のデジタルアーカイブ「オリアムデジタルヒストリー」に登録されているものを用いる)
- 「デザインにチャレンジ」(講師：地域企業)
 - …地域企業のデザイナーを招き、毛布のデザインについて学ぶ。実技の時間を設け、参加者が実際にデザインに挑戦し、思い思いのデザインを作成することを目指す。
- 「毛布はどうやって売られるの？」(講師：地域企業)
 - …毛布を扱う企業より講師を招き、泉大津市で生産された毛布がどのようなルートをとって消費者の手元に届くのかを話していただく。
- 「毛布を売り出してみよう」(講師：地域企業)
 - …完成した製品をどうやって売り出せばよいか、実際の広告の手法や店舗の工夫について地域企業の講師より学ぶ。学んだ後は広告案を作成し、それらの広告によってどのような効果がもたらされるかを参加者で検討するワークショップを行う。
- 「社長になろうと思ったら」(講師：中小企業診断士会)
 - …中小企業診断士会より講師を招き、会社を運営する社長が一体どんな仕事をしているのか、社長になるためにはどんな手続きが必要なのかなどを話していただく。講座後、どんな会社があるといいか、どんな会社を運営してみたいかを考え、参加者が発表しあう時間を設ける。
- 「やりたいことを形にしよう」(講師：中小企業診断士会)
 - …中小企業診断士会より講師を招き、事業計画書の書き方を学ぶ。参加者は自分が思い描く事業について自由に計画書を作成し、将来について思い描く契機とする。
- 「泉大津ってどんなところ？」(講師：日本統計センター)
 - …日本統計センターから講師を招き、地域について学ぶセミナーを開催する。データベース「MieNa」を用いて泉大津市の地域性がどのようにデータに現れるのかを学び、ビジネスに

活かせる部分を探究する。

これらのセミナー・ワークショップを、内容をブラッシュアップしながら数年ごとに繰り返し開催することにより、年度による参加者のばらつきを均一にする。

最終的に、講座から学んだことや経験したことを基に、中学生が自ら思い描いたビジネスプランを基に事業計画書を作成できるようになることを目標とする。作成した計画書は、大阪府大阪市で毎年開催されている中学生向けビジネスプランコンテスト「ナレッジイノベーションアワード」〔6〕（主催：ナレッジキャピタル）に応募することを目指すことにより、モチベーションの維持を図る。作成の指導は、高校生ビジネスプラングランプリを主催する日本政策金融公庫に依頼することを想定している。

現在泉大津市立図書館では、ゲームを通じて経営を学べる「子ども商店」と、お金について学べる「キッズマネーセミナー」を小学生、幼児向けに開催している。ジュニアビジネススクールを開催することにより、これらのイベントに参加した小学生をフォローアップすることができ、子供たちが将来的に役立つビジネスの知識を成長段階に応じて身につけられると期待される。

また、このビジネススクールの参加者が作成した成果物（事業計画書、地域企業講師の指導で作った織物やデザイン画、感想など）を、ヤングアダルト図書コーナーに面し、中高生の利用が多いグループラーニングエリアに専用の場所を設けて展示する。成果物を見学した来館者からの感想等をフィードバックすることで、スクール参加者のモチベーション維持に繋がることが期待される。

展示物の長期的なメンテナンスはビジネススクール参加者に依頼する。このことにより、中学校を卒業してスクールを離れても、図書館とのつながりを保つことができると考える。高校や大学を卒業し、大人として自身の進路を決定する時に、ビジネススクールで学んだことや体験したこと、地域について学ぶことで培った経験が活かされることを期待する。

② キャリア教育支援

泉大津市の三校の公立中学校で行われるキャリア教育授業・進路指導授業を、図書館資料を用いて支援する。支援図書は泉大津市立図書館が既に所蔵しているものに加え、最新情報が掲載されたものを新規購入して利用する。

支援図書の内容としては、子供たちが将来や夢について具体的に考えられるもの、職業を分野別に詳しく解説したもの、高校・大学進学の詳細な情報が得られるものなどを、一校につき 50～100 冊程度貸し出す。

図書を用いたキャリア教育授業が実現するためには、小中学校の担当課である教育委員会指導課との連携もさることながら、市内中学校の教職員の協力が必要不可欠である。市内中学校三校のうち一校をモデル校に指定し、実際に図書を用いてキャリア教育を行うことでどのようなメ

リットがあったかを確認するなど、双方向の効果が実感できる支援としたい。

③ 展示コーナーの設置

泉大津市立図書館内で中学生の利用が最も多いグループラーニングエリア(机・椅子・ホワイトボードを自由に組み合わせ、ディスカッションなどが可能な場所)に、企業やビジネスについての児童書・ヤングアダルト資料を展示するコーナーを設け、来館者が手に取りやすい環境を整える。

展示図書は、既に所蔵しているものに加え最新の情報が掲載されたものを新規購入する。内容としては、経営や経済について基礎を解説したもの、会社の仕組みについてわかるもの、金融についての情報が掲載されているものなどを想定している。

事業①②③の連携先と連携内容

連携先	連携内容
教育委員会指導課	キャリア教育授業支援の受け入れを依頼(②)
泉大津市商工会議所	ジュニアビジネススクールの講師派遣を依頼(①)
中小企業診断士会	ジュニアビジネススクールの講師派遣を依頼(①)
日本政策金融公庫	中学生向けのビジネスコンテストへの応募を目指す参加者のために作成のナビゲートを依頼(①)
日本統計センター	DB「MieNa」を用いた探求学習に繋がるセミナーの開催を依頼(①)

5 事業のスケジュール

年度	予定する内容
1 年目	各連携先に連携依頼 ジュニアビジネススクールの参加者を広く募集(①) 年度の後半にミニセミナーを開催(①) キャリア教育支援開始(②) 展示コーナー設置(③)
2 年目	ジュニアビジネススクールの定期開催(①) キャリア教育支援(②)
3 年目	中学生が応募できるビジネスプランコンクールへの応募を目指して企画書制作(①) キャリア教育支援(③)

6 期待される効果

事業を通じて期待される効果として下記三点が挙げられる。

●スクール参加者の横の繋がり

地域産業やビジネスについて学んだ参加者が、ビジネスプランコンクールへの応募という経験を共にして連帯し、学校外の結びつきを作る。

●スクール参加者と講師を依頼した地域企業との連携

参加者と講師役の世代間交流を通じて情報交換、アイデア交換が行われ、それを基にした賑わいが生じる。

●市内企業就労者数の増加

地域について学んだ参加者が将来的なビジョンを持ったビジネスパーソンとして成長することにより、地域就労者数が増加する。

これらの効果を望むためには、事業が長期的に継続して行われることが必要である。

図書館は当事業の開催を通じ、あらゆる関連情報の収集と地域交流、活性の起点となることが望まれる。将来について考え始めた中学生が図書館に集い、仲間と連帯して地域について学ぶことにより、泉大津の地域課題を解決に導く動きが生じると考える。その動きを全力で後押しするためにも、人と情報が自ら集まるような図書館を作り上げていきたい。

7 おわりに

泉大津市立図書館が泉大津市駅前に移転して以来、年間約 40 万人の来館者が訪れている。他自治体から訪れる方も多く、ビジネス支援サービスを目的とした利用も増加している。これまで私は、児童サービス担当であるという理由から、ビジネス支援サービスとは直接かかわれないものと考えていた。しかし今回の講習会に参加し、図書館のビジネス支援サービスの基礎や考え方、講師の先生方や参加された方々の熱意に触れ、きちんと相對する心構えができた。まだまだ学ばべきことは多く、広大な敷地の入り口に足を踏み入れたような状態であるが、上記の取り組みを実践するとともに研鑽を続けていくことで、まちづくりの中心にある図書館を体現したい。

〔1〕我が国繊維産業の現状

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/seizo_sangyo/textile_industry/pdf/001_07_00.pdf

〔2〕「泉大津市産業振興ビジョン」

<https://www.city.izumiotsu.lg.jp/material/files/group/12/sangyosinkobijyon.pdf>

〔3〕「泉大津市商工業振興ビジョン」

<https://www.city.izumiotsu.lg.jp/material/files/group/12/izumiotsushisyoukougyoushinkouvision.pdf>

〔4〕「泉大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

<https://www.city.izumiotsu.lg.jp/material/files/group/2/sougousenryaku.pdf>

〔5〕「第 2 期泉大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

<https://www.city.izumiotsu.lg.jp/material/files/group/2/61738189.pdf>

〔6〕ナレッジイノベーションアワード HP

<https://kc-i.jp/activity/award/innovation/>